

『『塙保己一ことども』は、群書類従の版木を保管する公益社団法人「温故学会」が発行された小冊子です。温故学会のご協力をいただき、その中身を、会報に掲載させていただいている年寄りまで読みやすく分かりやすいお話をします。子供からお

塙保己一 ことども (提供 公益社団法人 温故学会)



理事長 齋藤幸一氏

塙次郎忠宝 伊藤博文らに暗殺される

保己一の息子次郎(忠宝)は、文政五年(一八二二)に事業を引き継ぐと、『続群書類従』、『万葉集』、『徒然草』の刊行、さらに版木倉庫の移転、講談所の改革について、また外国との通商条約の文案起草など、公儀から一日を置かれる優秀な学者と成長していました。

ところが文久二年(一八六二)十二月二十一日、駿河台の中坊陽之助の歌会の帰途、自宅まであとすぐの九段坂で暗殺されました。その刺客は、若き日の伊藤俊輔(博文)と山尾庸三(宮中顧問官・子爵)でした。

その理由は、公儀が塙次郎と前田夏陰の二人に寛永以前の外国人待遇の式例(公使の応接)の典故を調べるようにと依頼されたことを、長州藩は廢帝の典故を調べていると曲解したためです。

駕籠に乗っていた次郎は、不意をつかれ絶命します。命からがら塙邸に戻った提灯持ちの書生は、このことを息子の忠韶に伝え、現場に行きますが犯人はすでに逃亡していました。幸い、父の横死でありながらも幕臣として職務を継続するよう講談所の継続は認められました。

時は明治に移り、忠韶は明治政府から大学少助教、修史局御用掛に任せられています。しかし、明治十六年、五十二歳で突然退職し息子忠雄に家督を譲っています。(忠韶は八十七歳で死去)おそらく役所に出仕している時に、父を暗殺した犯人を知り、その事実を確認しようと職を辞したのではないかと思われます。

顕彰会への加入・継続をお願いいたします。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会は、平成19年7月26日に市民参加による顕彰会として発足いたしました。顕彰会では、塙先生の遺徳と事績を広く顕彰し、その精神の普及を図ります。毎年、命日の9月12日に塙先生の遺影に菊の花を捧げる顕彰祭を開催するほか、説明会など各種啓発事業を行っています。

みなさまのご加入・会員継続をお待ちしております。



年会費 個人会員 1口 1,000円、賛助会員(団体) 1口 10,000円

入会と会費納入の受付場所 本庄市役所4階生涯学習課と本庄市児玉文化会館〈セルディ〉アスピアこだま内の児玉公民館で受け付けています。

※郵便振替でもお申込みいただけます(ご希望の際には、下記へご連絡ください)。

発行 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会

事務局 本庄市教育委員会 生涯学習課 本庄市児玉文化会館〈セルディ〉内

所在地 〒367-0216 埼玉県本庄市児玉町金屋728-2

電話 0495-72-8851 FAX 0495-72-8854

※点訳ボランティアグループ「ほきの六点会」の皆様により会報誌の点字翻訳版を作成して頂いています。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

そうけんぎょう はなわ ほきいち せんせい いとくけんしょうかい

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会 会報誌

第43号

令和4年5月号



没後200周年記念大会 第15回塙保己一賞 渋沢栄一アンドロイドと会長

ごあいさつ

会員の皆様には顕彰活動にご賛同いただき厚く御礼申し上げます。

私たち塙先生を慕い、尊敬する人々にとって、これまでの2年間は先生が没してから二百年の記念事業が目白押しとなり、記憶に残る日々となりました。一昨年には先生の二百回忌として墓前祭を執り行ったほか、顕彰活動のあゆみについての記念誌発行、市民総合大学との共催で様々な記念講演を開催し、また、昨年は没後二百周年として「ものがたり塙保己一」を発行、県主催の塙保己一賞での東京大学史料編纂所本郷教授の講演や子ども群読劇の開催のほか、記念切手の発行、数々の記念講座などが関係者の方々のご尽力により開催となりました。

今後も塙先生の顕彰に邁進してまいりますので、引き続き皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和4年5月吉日

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会
会長 吉田信解

顕彰会総会を開催します。皆様のご参加をお願いいたします。

日 時 5月28日（土）
会 場 セルディ ホール

・午後1時30分 受付開始
・午後2時 開式

内 容 令和3年度事業報告・決算報告
令和4年度事業計画・予算案審議
演 題 金屋小学校での塙先生顕彰活動報告
「はなわフェスティバル」

(金屋小の児童が頑張って活動した姿をビデオ上映します)

説 明 金屋小学校 川田 博樹 校長先生



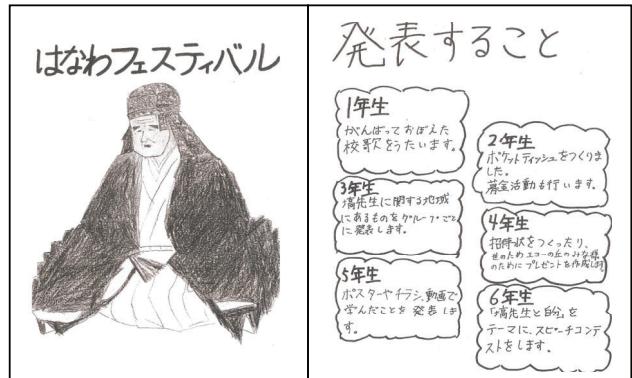
昨年の総会

※新型コロナウィルスの感染対策を行い開催します。状況により開催できない場合は本庄市ホームページに掲載します。

のち 後につながる顕彰活動 …

学校をあげての顕彰活動 「はなわフェスティバル」

塙先生の生家にほど近い金屋小学校では、長きにわたり塙先生の遺徳を地元に伝えようと活動してきました。先生方は塙先生をテーマとした授業や見学を熱心に取り入れ、児童たちは一生懸命学んでいます。3月8日（火）には、塙先生没後200年を記念して塙先生顕彰活動を各学年で発表する催し「はなわフェスティバル」を開催しました。本来であれば大勢の保護者や地域の方たちが見守るなか発表されるはずでしたが新型コロナウィルス対策のため、参観者が少ないなか、それでも各学年で塙先生について研究したことや学んだことの発表、スピーチコンテストなどを精一杯発表しました。



これから後も塙先生の顕彰が長く続いていくことが期待される出来事でした。

「はなわフェスティバル」発表すること

1年生…「がんばっておぼえた校歌をうたいます。」(校歌に塙先生が詠(うた)われています)

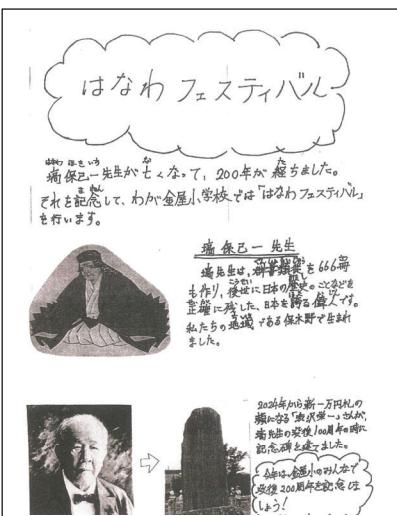
2年生…「ポケットティッシュをつくりました。募金活動も行います。」

3年生…「塙先生に関する地域にあるものをグループごとに発表します。」

4年生…「招待状をつくったり、世のためエコーの丘のみな様のためにプレゼントを作成します。」

5年生…「ポスター やチラシ、動画で学んだことを発表します。」

6年生…「「塙先生と自分」をテーマに、スピーチコンテストをします。」



児童手作りパンフレット

塙先生没後200周年記念事業報告

= 塙保己一没後200周年記念大会 =

第15回塙保己一賞表彰式・記念イベントを開催しました。



昨年12月18日（土）市民文化会館において塙保己一賞が埼玉県主催・本庄市共催で開催され、4名の方が受賞されました。塙保己一先生の精神を受け継ぎ障害がありながらも不屈の努力を続け社会的に顕著な活動をしている方や、障害者のために様々な貢献をしている方を表彰する塙保己一賞も今回で15回目。塙先生没後200周年と重なり表彰式・記念イベントが盛大に行われました。



<受賞者>

- 大賞 田中 章治氏 (75歳 埼玉県在住)
- 奨励賞 伊藤 丈人氏 (42歳 東京都在住)
- 奨励賞 小久保寛太氏 (21歳 埼玉県在住)
- 貢献賞 堀 正一氏 (77歳 埼玉県在住)

記念イベントでは、・渋沢栄一アンドロイドによるトークショーや塙先生が設立した

和学講談所の修史事業を今に引き継ぐ東京大学史料編纂所の本郷和人教授による講演「日本の歴史に見る塙保己一の貢献」も行われました。

また、ゴールボールパラリンピアンによる実技・トークイベントや子どもたちによる群読劇「塙保己一物語」など盛りだくさんの内容で記念大会が彩られました。



本郷教授による講演



記念冊子「世のため 後のため ものがたり塙保己一」について

塙先生没後200周年に顕彰会が発行した「世のため 後のため ものがたり塙保己一」は当初、市内小中学校16校の児童生徒全員にお届けし、ことし4月にも新1年生に配布しました。令和7年度まで新入生に贈呈し、塙先生を知って遺徳に触れ、郷土に誇りをもってもらいたいと考えております。なお、顕彰会会員の方には引換券にて配布しています。お受け取りがまだの方は、事務局までご連絡ください。



高校でも200周年記念作品を作成

児玉白楊高校機械科の生徒がデータプログラムによる塙先生の木製オブジェを作成しました。座像を細かい根気のいる作業でデータ化し、プログラムを組み、作成しました。プログラムは昨年の3年生が1年間かけて作成しました。

このほか、ペーパーウェイトの記念作品も作成され、ともにセルディに展示されています。

ぜひご覧ください。

